

# 問題提起②

## トランプ2.0で変わるグローバルサプライチェーン

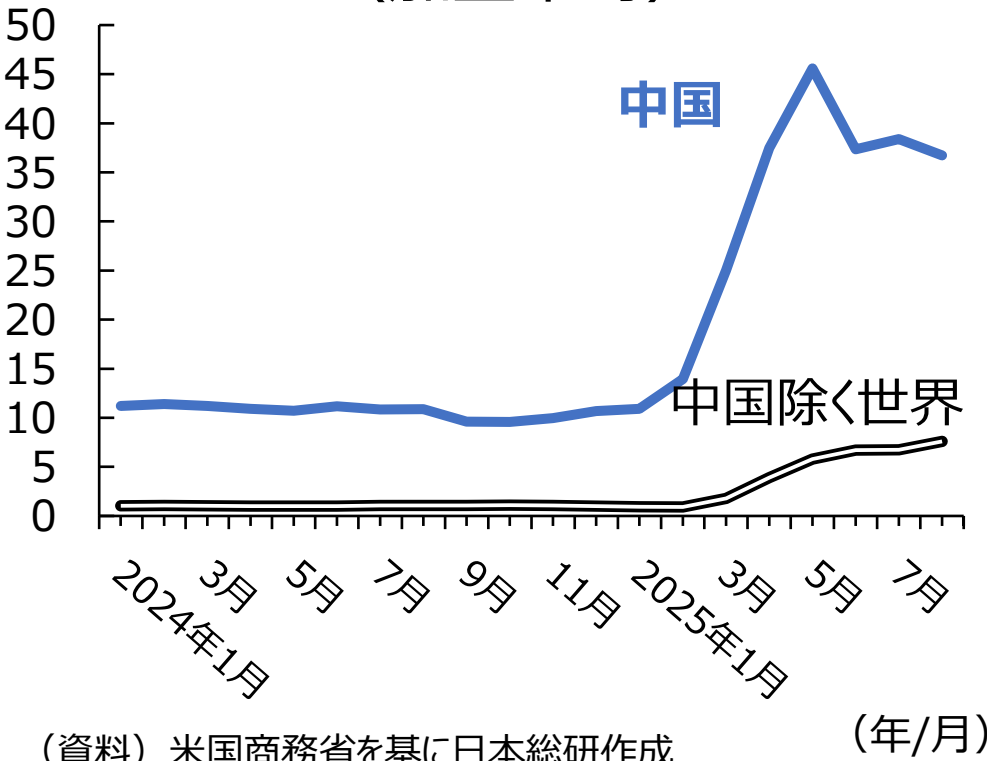
調査部  
野木森 稔

2025年12月12日

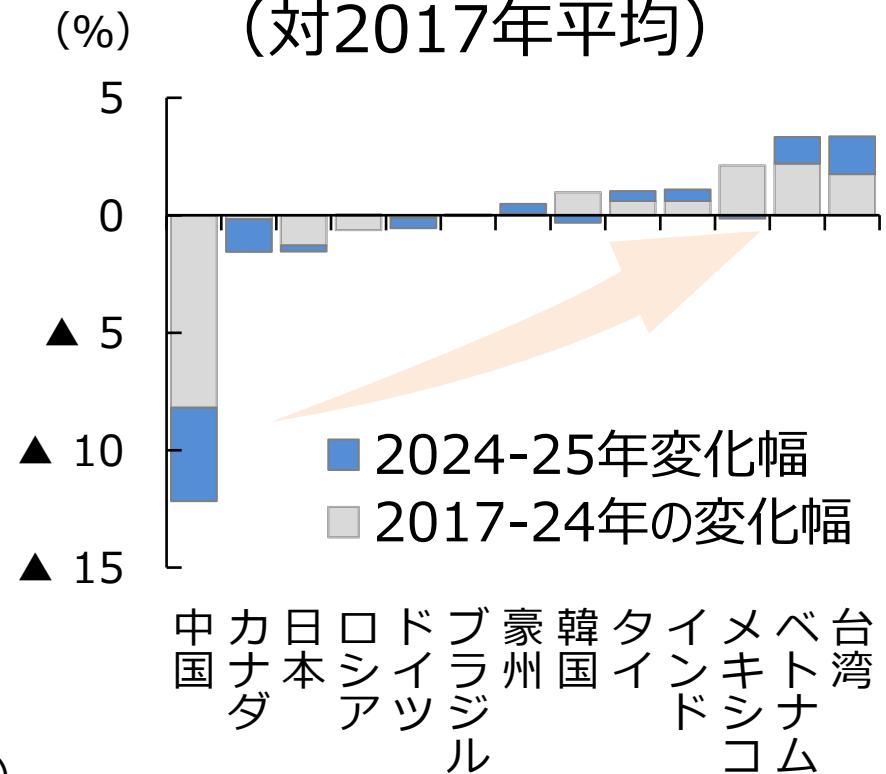
# 1. トランプ関税が中国貿易に大きな打撃

- 中国経済に大きな打撃となるトランプ関税
- 企業による中国からリスク分散の動き「チャイナ・プラスワン」が加速

米国輸入における対中関税率  
(加重平均)



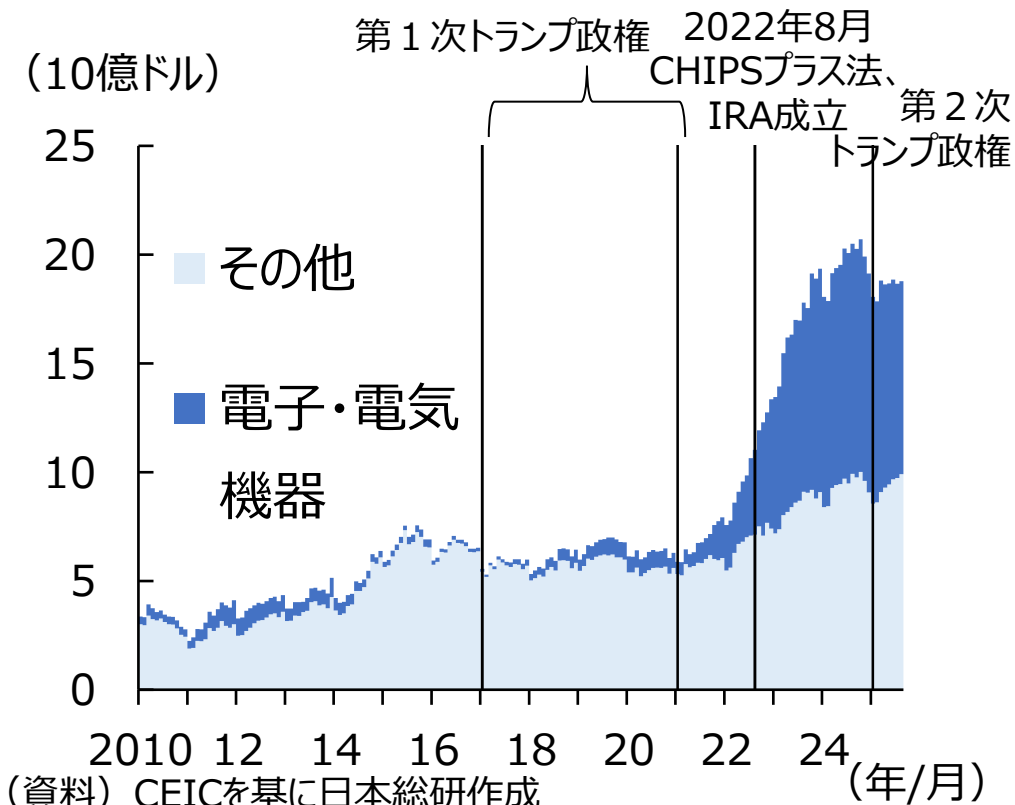
米国輸入国別シェアの変化幅  
(対2017年平均)



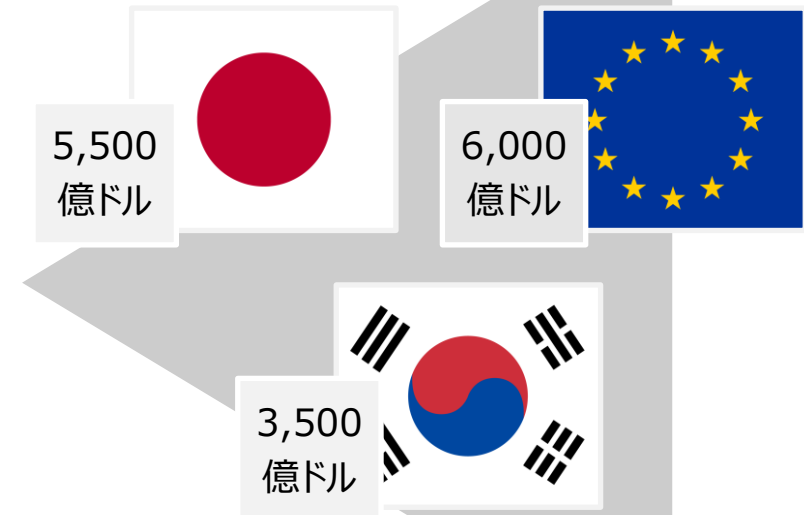
## 2. 米国への製造業回帰の動き

- 米国への製造業国内回帰も、伸びは鈍化
- 直前まではバイデン前政権下のCHIPS法やIRAの効果大

### 米国製造業建設支出



### 主要国・地域のトランプ政権と合意した米国への投資金額

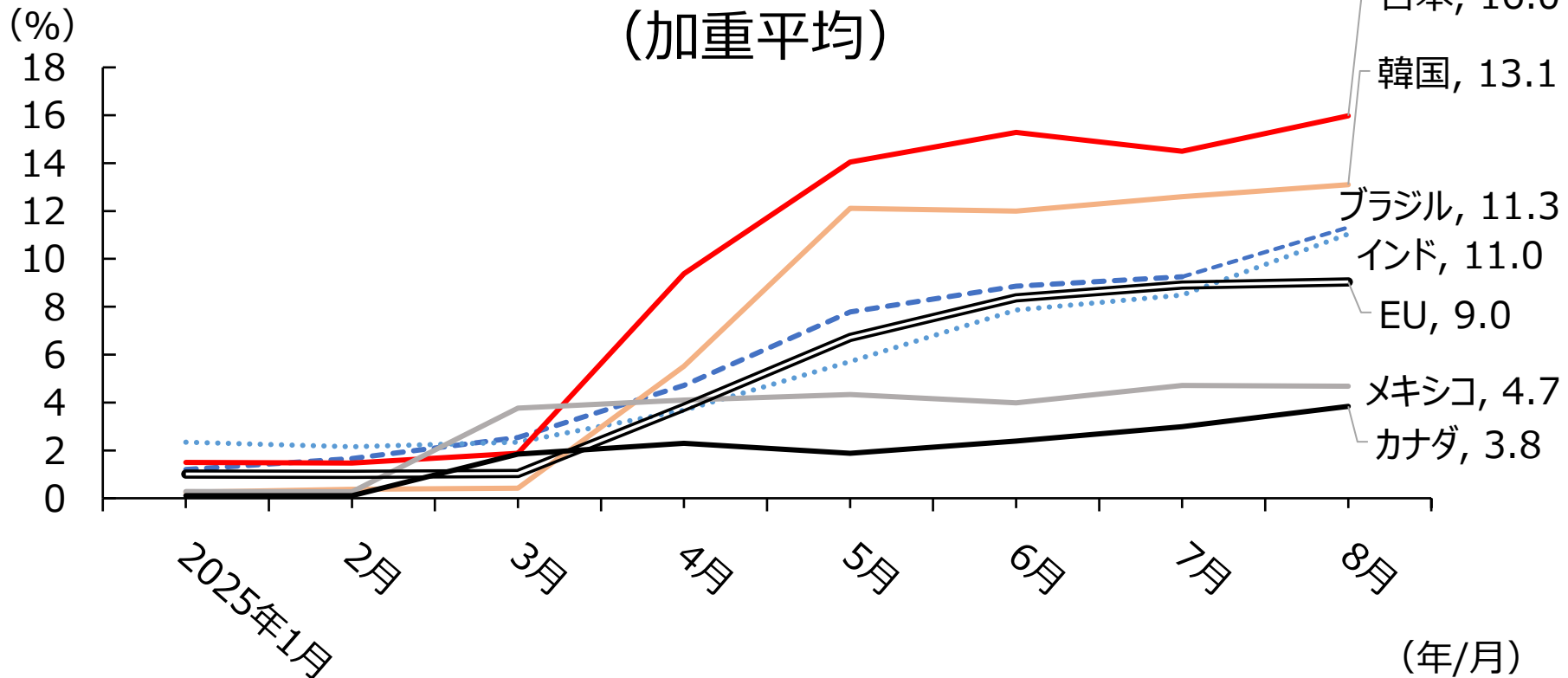


ほかにサウジアラビアなど  
中東各国からの投資も

### 3. ディール重視のトランプ氏、政策に不透明感

- 2025年8月にかけてトランプ政権は各国・地域との交渉
- 一部の国へは、中国よりも高い関税を課すといった決定

主要国・地域への米国輸入関税率  
(加重平均)

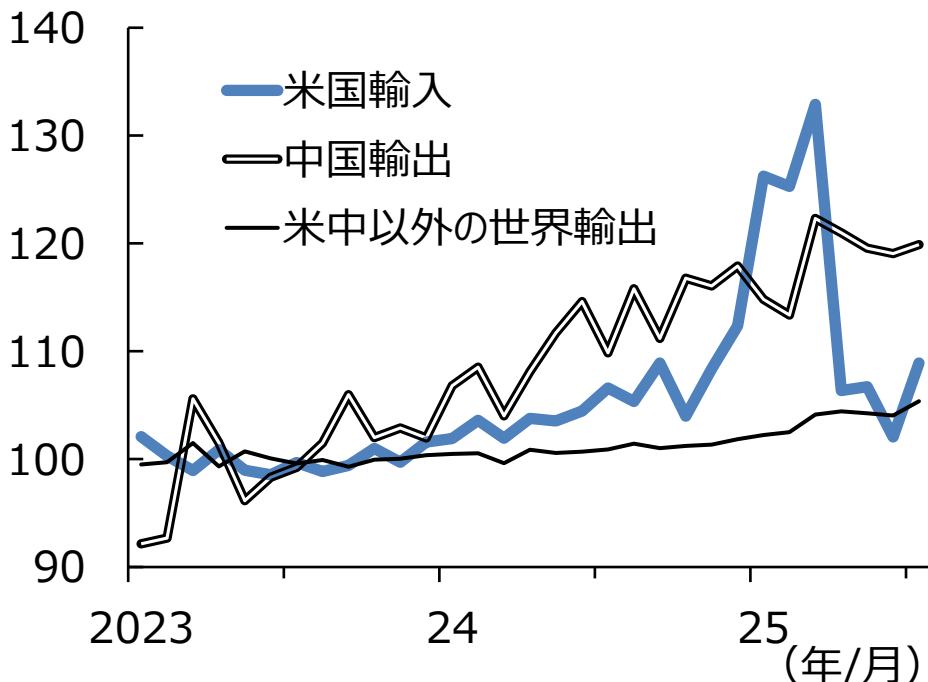


(資料) 米国商務省を基に日本総研作成

## 4. 中国優位の展開の可能性も

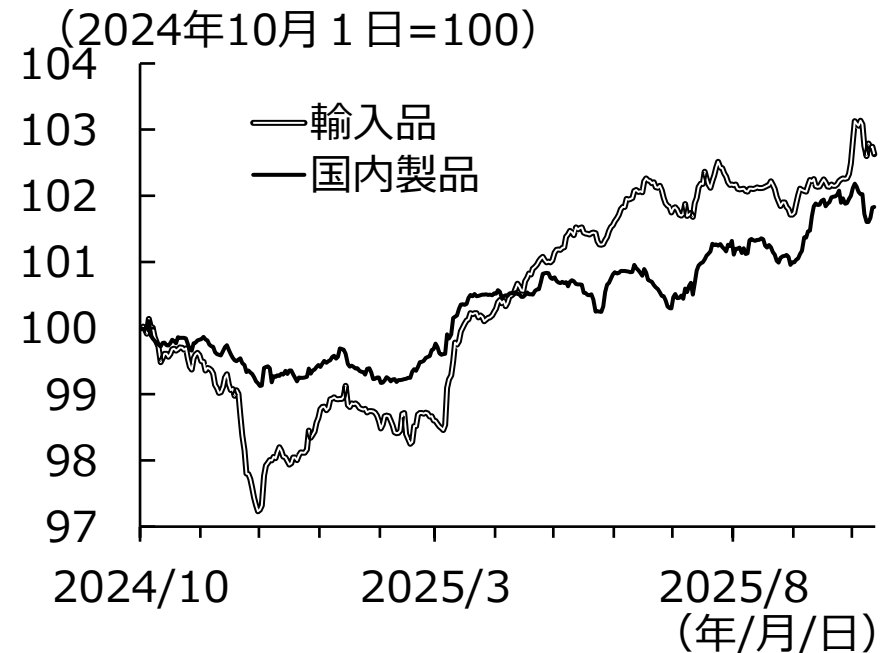
- 関税引き上げにより米国輸入急減も、中国はじめ世界貿易は堅調
- 食料品関税突然の撤廃など、関税政策自体どうなるか予想不能

米国輸入と米国以外の輸出数量  
(%)



(資料) オランダ経済政策分析局 (CPB) を基に日本総研作成

米国輸入品・国内製品の  
物価指数



(注) 米国の主要小売業者4社が販売する商品約35万点に基づく推計値。最新値は2025年10月12日。

(資料) HBS Pricing Lab を基に日本総研作成

## 製造業サプライチェーン再編・強化での各国政府・企業の基本的な選択肢

対中デリスキング

チャイナ・プラスワン

対米投資拡大

米国内地産地消

リスク: 予測不能な  
トランプ大統領の政策

対中規制の緩和

→グローバルサプライチェーンで中国  
の影響力はむしろ拡大？

対露貿易への制裁

→中国だけでなく広範囲の国への  
圧力が高まる？

ご清聴ありがとうございました